

平成 29 年度 第 1 回 村山地域保健医療協議会（村山地域医療構想調整会議）
病床機能調整 村山ワーキング（北村山） について（報告）

1. 会議概要

- 【日 時】 平成 29 年 6 月 13 日（火） 16:00～
【場 所】 村山保健所 2 階 講堂
【内 容】 報告（1）病床機能の分化・連携について
 （2）北村山地域における医療提供体制の検討状況について
 協議（1）北村山公立病院における病棟再編について
 （2）その他

2. 議事概要

■ 北村山地域の医療提供体制に関する事項

【報 告】

⇒これまでの検討状況について事務局から報告を行った。

【主な意見】

- ・ D P C 病院における北村山地域の患者のシェア率を見ると、北村山公立病院と県立中央病院が高い割合を占めている。
- ・ また、他の山形市内の D P C 病院では、診療科によってシェア率の高低があるものの、整形外科などの筋骨格系や眼科等複数の診療科では北村山公立病院よりもシェア率が高い。こうしたことから、山形市内の D P C 病院では、北村山地域の急性期の整形外科疾患患者などを多く受け入れている状況が見て取れる。
- ・ 北村山地域に比べると、西村山地域の方がより山形市内へ出て行きやすい地域環境がある。また、北村山地域は救急搬送件数が多く、西村山地域に比べて患者数が多いことから、西村山地域よりも急性期度が高い状況にある。
- ・ 今後の医療連携の在り方や病床機能の在り方については、こうした患者の動きや診療科ごとの特性を踏まえ、北村山地域と西村山地域を別々に検討していくことが妥当である。
- ・ なお、山形ロイヤル病院からは、昨年度報告された病床機能報告について、今後、地域のニーズや地域から求められている役割を病院側がしっかりと見極めたうえで、病床機能の変更を検討していくとの報告がなされた。

【まとめ】

- ・ 北村山地域の病床機能の分化・連携の推進を図るため、本ワーキングにおいて、今後も地域の課題等を協議していくことが確認された。

■ 北村山公立病院の病棟再編に関する事項

【概要説明】

- ・ 現在、北村山公立病院の許可病床数は 360 床（急性期 312 床、回復期 48 床）で、診療科は 16 科目となっている。地域医療構想を踏まえた病床種別の適正化を図るため、平成 30 年度から、許可病床数を 60 床減床し 300 床（急性期 252 床、回復期 48 床）とする予定である。
- ・ 北村山公立病院の特色である人工透析やリハビリテーション医療等の機能強化を図るため、施設・設備整備を計画的に行い、北村山地域の基幹病院として急性期医療と回復期機能の充実を図っていく。

- ・今年度は、老朽化が著しいリハビリテーション棟の改修工事を行い、高齢者に多い疾病に対応した急性期後のリハビリテーション機能とプール訓練機能の充実を図り、疾患の重症化予防と急性期治療を終えた患者の在宅・社会復帰までの支援強化に繋げていく。
- ・平成30年度から医師及び理学療法士を増員することにより、現在のリハビリテーション棟の体制を更に強化していく。

【主な意見】

- ・北村山公立病院における新規入院患者の他病院からの転院状況は、他病院と比べてそれほど多くないことから、他病院との連携を更に密にしていく必要がある。
- ・退院患者の行き先を見ると、老健、特養、その他有料老人ホーム等を合わせた割合が比較的高い状況にあることから、他の急性期病院との並びでもみても特性がある。
- ・一方で、介護施設、福祉施設から入院してくる割合が、他の急性期病院と比べてかなり高い状況にあるため、今後、地域包括病棟へ期待されているような機能を担う役割が大きいものと思われる。
- ・中長期的に考えた場合、一定程度の急性期機能を確保しつつ、介護施設などからの入院患者が多い状況から鑑みて、回復期（急性期後の患者や在宅療養を行っている患者、介護施設で軽度の急性増悪による患者等の受け入れを含む）の機能を担っていく需要が高まってくるものと思われる。

【まとめ】

- ・北村山公立病院においては、本日説明があった内容やスケジュールで施設等の整備を進め、各委員の意見を参考に今後の病棟再編等を行っていくことが確認された。